

インベスターデイ 2021 質疑応答

開催日： 2021年6月8日（火）

説明者： 専務執行役員 アジア・大洋州本部長 永富 公治

司会進行： IR 部長 稲室 昌也

<質問 1>

CT Corp 社が持つ消費者タッチポイントの魅力・インドネシア人に対する訴求力について教えて頂きたい。

<回答>

CT Corp 社では、総裁等がトップダウンで、消費を牽引する若年層の取り込みに力点を置いている。若年層向けに Detik(総合情報ポータル)などの成功例もあり、更なるメニュー拡充に向けて化粧品ブランドの導入など数多くの取り組みを実施中。当社も同社のソーシングを支援し、CT Corp 社が提供する製品・サービスの拡充に貢献する。

<質問 2>

転換社債引受の背景・利益取込の考え方について教えて頂きたい。

<回答>

アジアの成長・消費者の拡大を取り込むことを視座に、アセアン 7 億弱の人口の 4 割を占めるインドネシアをまずはターゲットとした。消費者タッチポイントをゼロから作りこむことは難しいため、一定程度の基盤をもったパートナーと組むことが必要で、当社ビジョンとの一致も多かった CT Corp 社の転換社債引受を決めた。当面インドネシアの消費者エコシステム構築を CT Corp 社と協働でやりきるとともに、他国横展開も含め新しい事業展開を図っていく所存。

<質問 3>

主たる収益源は、CT Corp 社の成長の取り込みか、協同事業による収益追求か。CT Corp 社側からみて、当社と組むメリットはなにか。

<回答>

転換社債引受後一定期間を経て、戦略提携が想定通りに進むと判断できれば、株式転換による収益取込みを考えていきたい。その点で CT Corp 社の企業価値を上げていくことが一義となるが、一方で、周辺ビジネスの追求も同様に進めていく。個別事業ごとに CT Corp 社単独、当社との合併、第三者も含めた合併など進め方は柔軟に考えていく。CT Corp 社は、当社に対して、先進国のビジネスモデル・商品の持ち込み、持続的な企業にシフトするための事業基盤づくりへの貢献、グローバル展開のサポートに期待ありと認識している。

以上